

2019年度 看護部教育計画

2019年4月11日

実践力	研修名	目的	目標		方法	講師	対象者	開講日	時間	場所
倫理的実践力	看護倫理	人間の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重した看護が実践できる能力を養う。	レベルⅠ	倫理の基礎的知識を理解できる。	講義	がん看護専門看護師	新採用者	4月5日	10:50～12:20	講堂1
			レベルⅡ	倫理的問題に気づき、表現することができる。	①講義 ②グループワーク	倫理委員	ラダーⅡ以上	7月18日	13:00～17:00	講堂2
			レベルⅢ	事例を通して、看護倫理について深く考察できる。	①講義 ②グループワーク	倫理委員	ラダーⅢ以上	12月9日	13:00～17:00	講堂2
看護を臨地で実践する能力	新人研修	当院の組織の一員として自覚を持ち、基本的看護が実践できる能力を習得する。	新採用時研修	①看護部の理念や方針を理解し、看護職員としての自覚をもつ。 ②看護に必要な共通の知識・技術を学ぶ。	①講義 ②演習 ※別プログラム参照	病院職員	新採用者	①4月1・2日 ②4月3・4・5日 ③4月18日 ④4月22日	①②8:30～17:15 ③8:30～12:15 ④12:30～17:15	講堂1 視聴覚室 実習室 他
			3ヶ月研修	①リアリティショックが軽減でき、チームの一員として看護する喜びが見出せる。 ②安全に留意した援助の重要性が理解できる。	①講義 ②グループワーク	安全管理委員 教育委員	新採用者	7月1日 7月9日 ※同内容	8:45～17:00	講堂2
			6ヶ月研修	①患者を迅速・安全に避難・誘導・救護する方法がわかる。 ②日々の悩みや課題を同期で共有し、ストレスの軽減を図る。	①講義 ②演習	教育委員他	新採用者	10月7日 10月8日 ※同内容	8:45～17:00	講堂1・2 体育館
			9か月研修	①コミュニケーション(対人関係)について学ぶ。 ②翼状針による点滴静脈注射に関する知識・技術を学ぶ。	①講義 ②演習	(外部講師) 井上泰世先生 教育委員	新採用者	12月2日 12月16日 ※同内容	8:45～17:00	講堂1・2 実習室
			1年目研修	①1年間の振り返りを行い、2年目の課題を明確にする。 ②ケーススタディについて学ぶ。 ③留置針による点滴静脈内注射に関する知識・技術を学ぶ。	①1年の振り返り ②講義 ③演習	中野看護師長 教育委員他	新採用者	3月2日 3月6日 ※同内容	8:45～17:00	講堂1・2 実習室
	2年目看護師研修	看護師としての自己の発達上の課題に気づき、専門職業人としての歩みをすすめる		2年目看護師が思いを語り合い、不安に向き合いつつ、前向きに取り組むための課題を明確にできる。	グループワーク	教育委員	2年目看護師	7月12日	14:30～17:00	講堂2
	コアレクチャー	①基本的技術としてフィジカルアセスメントの方法を理解する。 ②各科共通している臨床看護技術、医療機器について学ぶ。	前期	①呼吸状態の観察	講義	医師・看護師	新採用者	4月15日	15:30～17:00	視聴覚教
				②心臓の解剖・生理と心電図	講義	医師・看護師	新採用者	4月18日	15:30～17:00	視聴覚教
				③循環動態の観察	講義	医師・看護師	新採用者	4月25日	15:30～17:00	視聴覚教
				④周手術期 観察とアセスメント	講義	医師・看護師	新採用者	5月8日	15:30～17:00	視聴覚教
				⑤意識レベル・麻痺状態の観察	講義	医師・看護師	新採用者	5月16日	15:30～17:00	視聴覚教
				⑥糖尿病と血糖コントロール	講義	医師・看護師	新採用者	6月5日	15:30～17:00	視聴覚教
				⑦水・電解質バランス	講義	医師・看護師	新採用者	5月21日	15:30～17:00	視聴覚教
	コアレクチャー		後期	①感染管理Ⅰ	講義	看護師	新採用者			
				②スキンケアⅠ	講義	看護師	新採用者			
③認知症・高齢者看護PartⅡ				講義	看護師	新採用者				
④がん看護Ⅰ				講義	看護師	新採用者				
⑤在宅療養支援				講義	看護師	新採用者				
⑥栄養管理と摂食・嚥下障害看護Ⅰ				講義	看護師	新採用者				

2019年度 看護部教育計画

2019年4月11日

実践力	研修名	目的	目標	方法	講師	対象者	開講日	時間	場所
	2か月間 ローテーション 研修	新採用者が大阪病院の臨床現場に、より円滑に適應できる基本的看護の知識・技術を習得する。	ICU:クリティカルケアを必要とする患者を通して、基本的看護の知識・技術を習得できる。 病棟:①一人の患者を通して、基本的看護の知識・技術を修得できる。②チーム医療、地域連携の実際を知り、病棟看護師の役割を学ぶ。 治療検査看護ケア部門:①侵襲を伴う検査・治療を受ける患者の看護を体験できる。②初療における看護を体験できる。③化学療法看護の実際を体験できる。④褥瘡ケア・ストーマケアを体験できる。⑤栄養療法の実践を体験できる。⑥医療関連感染管理を体験できる。⑦血液透析を受ける患者の看護を体験できる。 手術室:①入室から退室までの患者の経過を知り、手術後観察・ケアの必要性がわかる。②手術に関わる麻酔医・担当医・執刀医ME・各部署とのチーム医療の実際を知り、手術室看護師の役割を知る。③滅菌・消毒の基本と実際を知る。			新採用者	6月3日～翌年1月までの2か月間	ICU:3週間 病棟:2週間 手術室:1週間 治療検査看護ケア部門:2週間	※研修場所は別途
			※2か月間ローテーション研修オリエンテーション			新採用者	5月16日	14:30～15:30	講堂1
	コミュニケーション スキル	看護者としてのコミュニケーション技法を習得する。	レベルⅠ	①コミュニケーションの原理・原則を理解する。 ②看護者として行動するためのコミュニケーション技術を学び、日々の看護ケアに活かすことができる。	①講義 ②演習	(外部講師) 井上泰世先生	ラダーⅠ	12月2日 12月16日 ※同内容	13:30～16:30  講堂1
		コーチングについて学びコミュニケーションを効果的に行うことで患者やプリセプティの持つ素質や才能を見出し自発行動に結びつける効果的な関わりができる力を養う。	レベルⅡ	①コーチングの概念を理解する。 ②コーチングを活用するための基本スキル(質問する、傾聴する、観る、伝える)を理解する。 ③演習を通してコーチングを理解する。	①講義 ②演習	(外部講師) 井上泰世先生	ラダーⅡ ※3年目以上でプリセプターかそれに準ずる者	9月9日	13:00～16:30  講堂1
		アサーティブネスについて学び、自己・他者との信頼関係を築き、チーム医療が円滑に実践できる力を養う。	レベルⅢ	①これまでの対人関係を振り返り、新たなコミュニケーションの知識・技術を理解する。 ②アサーティブコミュニケーションの演習を通して、これまでとは違う行動様式を実感する。	①講義 ②演習	(外部講師) 井上泰世先生	ラダーⅢ以上	2月13日	13:00～16:30  講堂1
	看護記録	情報開示に対応でき、看護実践が見える記録が書ける。	レベルⅠ	当院の看護記録マニュアルに沿って看護記録が書ける	①講義 ②演習 ③演習	看護記録委員	ラダーⅠ	①5月16日 ②5月20日 AM ③5月20日 PM ※②③同内容	①13:00～14:30 ②8:45～12:15 ③13:15～16:45  ①講堂1 ②講堂2
	看護過程	看護過程を正しく理解し、患者の個別に応じた看護実践ができる。	レベルⅠ	事例を通し、看護の方向性を明確にして患者目標が導き出せる。	①講義 ②演習 ③演習	看護記録委員	ラダーⅠ	①6月3日 ②6月17日 AM ③6月17日 PM ※②③同内容	①13:00～14:30 ②8:30～12:15 ③13:15～17:00  ①講堂1 ②③講堂2
			レベルⅡ	事例を通し、個別的な看護計画が立案できる。	演習	看護記録委員	ラダーⅡ	①1月27日・2月3日 ②1月31日・2月10日 ※①②同内容	1日目12:45～17:15 2日目14:00～17:00  講堂2
			レベルⅢ	事例を通し、個別的な看護計画が立案できる。(難易度を上げる)	演習	看護記録委員	ラダーⅢ	10月15日・21日	13:00～17:00  講堂2

## 2019年度 看護部教育計画

2019年4月11日

実践力	研修名	目的	目標	方法	講師	対象者	開講日	時間	場所
	フィジカルアセスメント	患者の全身状態を正しくアセスメントができる能力を習得する。	レベルⅠ	フィジカルアセスメントの目的と意義、必要な基本的技法を習得できる。	①講義	ICU担当看護師	2か月ローテーション研修に含む		ICU
			レベルⅡ	フィジカルアセスメントに必要な基本技術を基に対象事例のフィジカルアセスメントが習得できる。	①講義	澤井集中ケアCN	ラダーⅡ以上	9月2日	13:00～17:00 講堂1・2
	臨床推論	急性期病院の看護師に必要な臨床推論力を習得できる	レベルⅢ	①臨床推論に必要な基礎知識を習得できる。 ②臨床推論力を高めるための自己の課題を見出すことができる。	①講義 ②演習	中村集中ケアCN/特定看護師	ラダーⅢ以上	11月11日	13:00～17:00 講堂1
	救急看護	救急場面における看護の役割を習得できる。	レベルⅠ	BLSを理解し実践できる。	①講義 ②実習	救急看護CN	新採用者	4月22日	12:30～16:10 実習室
		救急場面においてリーダーシップを発揮できるよう知識・技術を習得できる。	レベルⅡ	①ガイドラインに基づくBLSを実践できる。 ②ガイドラインに基づくACLSを理解し習得できる。 ③急変時の家族への連絡方法がわかる。	①講義 ②演習 ③BLSテスト	救急看護CN	ラダーⅡ以上	①11月18日 ②11月25日 ※同内容	13:00～17:00 講堂1・2
			レベルⅢ	①緊急時に二次救命処置が実践できる。 ②二次救命処置が円滑・的確にできるようにチームメンバーに指示することができる。 ③救急場面における家族看護の必要性が理解できる。	①講義 ②演習 ③ACLSテスト	救急看護CN	ラダーⅢ以上	10月17日	13:30～17:15 講堂1・2
	認知症高齢者看護	高齢者の特徴と特有な病気や障害を理解し、それらを持ちながら生きる高齢者とその家族を支える看護実践できる能力を養う。	レベルⅡ	①認知症症状を呈する代表的な疾患の病態について理解する。 ②認知症高齢者が体験する世界を知り、認知高齢者に対する理解を深める。 ③認知高齢者目線で、援助方法を考えることができる。	①講義 ②演習	伊坪老人看護CNS	ラダーⅡ以上	10月29日	13:00～17:00 講堂2
			レベルⅢ	①認知症高齢者の行動・心理症状に対する看護を考えることができる ②認知症高齢者を介護する家族の現状・心理を理解できる ③認知症高齢者に対する倫理的ジレンマに気づき、対応を検討できる	①講義 ②演習	伊坪老人看護CNS	ラダーⅢ以上	12月19日	13:30～17:00 講堂2

2019年度 看護部教育計画

2019年4月11日

実践力	研修名	目的	目標	方法	講師	対象者	開講日	時間	場所	
	在宅療養支援	療養支援・地域連携に関する知識を習得し、実践できる能力を養う。	レベルⅡ	①在宅療養支援・地域連携に関する基本的知識を習得できる。 ②在宅療養支援・地域連携に関する患者情報を意図的に収集し、療養支援の必要性を判断できる。	①講義 ②グループワーク	医療福祉相談室・外来 看護師	ラダーⅡ	6月10日	13:00～17:00	講堂1
		《講義編》 在宅療養支援・地域連携に関する知識を習得し、実践できる能力を養う。	レベルⅢ	①在宅療養支援・地域連携に関して必要な知識を習得できる。 ②在宅療養支援の必要性を判断し、対象に適した退院計画が立案できる。	①講義	医療福祉相談室 外来 看護師・MSW	ラダーⅢ以上	7月8日	13:00～17:00	講堂2
		《実習編》 患者家族の生活背景に合わせた質の高い在宅療養支援と円滑な地域連携をするために訪問診療・訪問看護の実際を知る。	レベルⅢ	①訪問診療・訪問看護の研修を通して、退院に向けて調整すべき生活環境・介護サービスを理解できる。 ②在宅療養支援・地域連携において共有すべき情報・連携方法を学ぶことができる。	在宅療養支援診療所・訪問看護ステーションにおける実習 ※1箇所2名	在宅療養支援診療所の医師 訪問看護ST 看護師他	レベルⅢ講義 編終了者	9～10月頃		
	キャリア研修	自己の経験に基づいて状況を全体として把握し、看護実践においてリーダーシップを発揮できる。	院内留学	①新たな刺激を受けることで自己を振り返り、自己の今後の課題を見出すことができる。 ②客観的に自分の部署を見つめることで、今後の部署の課題を見つけることができる。			4年目以上	7月～11月で調整		

## 2019年度 看護部教育計画

2019年4月11日

実践力	研修名	目的	目標	方法	講師	対象者	開講日	時間	場所	
組織的役割遂行能力	リーダーシップ	リーダーの基礎能力を養い、リーダーシップがとれる。	レベルⅡ	①リーダーシップの基礎的知識を理解できる。 ②日々の看護実践においてリーダーシップがとれる。	①講義 ②演習	未定	ラダーⅡ	6月13日	13:00～17:00	講堂1
		チームの課題達成のためのリーダーシップがとれる。	レベルⅢ	①チームリーダーとしての役割機能について知る。 ②チームリーダーとしての自己の課題を明確にし、行動できる。	①講義 ②演習 ③実習	未定	ラダーⅢ	講義:10月30日 演習:11月29日	13:30～17:00	10月30日 講堂2 11月29日 講堂1
	管理者教育	中間管理者に求められる職務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得し管理能力を習得する。 組織および看護部の理念を基に自部署の目標達成のための看護管理過程が展開できる能力を習得する。		別紙 管理者教育プログラム参照						
	プリセプターシップ	当院のプリセプターシップについて理解し、新人看護師のリアリティーショックを最小限に留め、新人とプリセプターが共に成長できる。	プリセプターシップ研修	プリセプターシップについて理解し、新人看護師のリアリティーショックを最小限にとどめ、新人看護師とプリセプターが共に成長できる。	①講義	教育委員副師長 プリセプター経験者	ラダーⅡ ※次年度プリセプターを担当する初プリセプター	2月17日	15:00～17:00	講堂1
			プリセプター交流会Part 1	当院のプリセプターシップと役割を認識し、プリセプティとの関係づくりを進めるための自己の課題が明確になる	グループワーク	教育委員	ラダーⅡ 初プリセプター	5月14日	①13:00～15:00 ②15:15～17:15 ※同内容	講堂2
			プリセプター交流会 Part2	当院のプリセプターの役割を通し、プリセプティが独り立ちする時期における自己の課題が明確になる。	グループワーク	教育委員	ラダーⅡ 初プリセプター	10月28日	①13:00～15:00 ②15:15～17:15 ※同内容	講堂2
	新人看護職員実地指導者研修	新人看護職員実地指導者に必要な基礎知識を習得する	PartⅠ	①新人看護職員の職場への適応状況を把握し、新人看護職員へ基本的な看護技術の指導及び精神的支援ができる ②部署の新人看護職員教育計画に沿って、教育担当者、部署管理者とともにプログラムの実施及び評価ができる。	①講義 ②グループワーク	未定	ラダーⅢ以上 新人看護職員実地指導等の任にある者	7月29日	9:00～17:15	講堂2
			PartⅡ	①新人看護職員の職場への適応状況を把握し、新人看護職員へ基本的な看護技術の指導及び精神的支援ができる ②部署の新人看護職員教育計画に沿って、教育担当	グループワーク	未定	今年度PartⅠ参加者	12月6日	14:30～17:15	講堂1
			情報交換会	新採用者が2カ月間ローテーション研修における各研修場所の目標を達成するための効果的な関わりについて情報交換し課題が明らかになる	グループワーク	看護部 教育委員	2ヶ月間研修場所の実地指導者	9月30日	15:00～17:00	講堂2

## 2019年度 看護部教育計画

2019年4月11日

実践力	研修名	目的	目標	方法	講師	対象者	開講日	時間	場所
	新人看護職員教育担当者研修	新人看護職員教育担当者に必要な基礎知識を習得する。	Part I	①新人看護職員の職場への適応状態を把握し、新人看護職員研修が効果的に行われるよう、実地指導者や新人看護職員への教育および教育的支援ができる。 ②新人看護職員同士、実地指導者同士の意見交換や情報共有の場を設定し、新人看護職員と実地指導者の関係調整支援ができる。	①講義 ②グループワーク	教育委員	ラダーⅣ 新人看護職員教育担当者の任にある者	2019年度 開催なし	
			Part II	③JCHO大阪病院の新人看護職員研修計画に沿って、部署の看護管理者とともに部署における新人看護職員の計画を立案できる。	発表会	看護部 教育委員	Part I 参加者	2019年度開催なし	
			実践報告会	今年度の新人看護職員教育計画書を作成後の、新人看護職員教育の実践報告	発表会	教育委員	平成30年度 Part I・II 参加者	9月19日	13:30～17:00 講堂2
	臨床指導者研修	自らの看護観を深め、より良い看護実践者を育成するための指導観を養う	Part I	①講義を通して、臨床で学ぶことの意味を考える。 ②相手を指導するには、「自己の看護観」が確立していることと「人と関わる力」が重要であることがわかる。	①講義 ②グループワーク	看護学校教員	ラダーⅢ以上	7月31日・8月1日	8:30～17:15 看護学校
			Part II	自己の看護観、指導観を表現することができる	グループワーク	看護学校教員 教育委員	Part I 参加者	12月3日	14:00～17:15 看護学校
	指導案研修	自部署の問題点やよくある場面を想定した上で教育の企画・運営ができる。	レベルⅣ	①自部署の問題点やよくある場面を想定した上で講義の対象・目的・目標を考えることができる。 ②教育(勉強会)の企画ができる。 ③教育(勉強会)の運営ができる。	①講義 ②実践	中村集中ケア CN	ラダーⅣ	6月20日	15:00～17:00 講堂2



2019年度 看護部教育計画

2019年4月11日

実践力	研修名	目的	目標	方法	講師	対象者	開講日	時間	場所
自己教育・研究能力	看護研究	看護の質的向上を目的とした看護研究に取り組める。	看護研究Ⅰ	ケーススタディを学び、事例検討に取り組むことができる。	講義	中野看護師長	ラダーⅠ	3月2日・6日	1年目研修に含む
				文献を用いて行った看護を振り返り、考察することができる。 自己の看護観を明らかにすることができる。	事例発表会		ラダーⅡ 2年目看護師	11月5・14・21・28日	17:30～19:00 視聴覚室
		看護の質的向上を目的とした看護研究に取り組める。	看護研究Ⅱ	①看護研究の基本的な過程を学び、基礎的知識を養うことができる。 ②文献検索の方法を知り、身近な専門誌・商業誌に公表されている研究成果を読むことができる。	講義	中野看護師長	ラダーⅡ ※2年目看護師は受講不可	10月1日	13:00～17:00 講堂2
			看護研究Ⅲ stepⅠ	《step1》 看護研究の基本的過程を学び、関心領域の文献をクリティークし、実践への応用や看護研究への活用を検討できる。	講義	中野看護師長	ラダーⅢ 具体的に研究に取り組む準備がある者 ※レベルⅡ修了者が望ましいが相談に応じ	7月2日	13:00～17:00 講堂2
			看護研究Ⅲ stepⅡ	《step2》 ①研究計画の立案について学び、看護研究に取り組む準備ができる。 ②研究計画に沿って研究に取り組むことができる。	グループワーク	中野看護師長	ラダーⅢ ※以前看護研究Ⅲ受講生も参加可能	11月1日	14:00～17:00 講堂2
	看護研究・実践報告発表会	ケアの質向上を目指した看護研究ができる。			発表会		看護職員	2月4・7日	17:30～19:00 視聴覚室
エキスパートコース	感染管理コース	感染予防策を看護実践に活用するための知識・技術を習得する。	レベルⅡ	①感染予防の理論的根拠を理解する。 ②所属の感染対策の実践に必要な知識・技術を習得する。	①講義 ②講義 ③テスト	柴谷・小井感染管理認定 CN 中央検査室技師長	ラダーⅡ以上	6月13日 6月16日	17:30～19:00 9:30～16:00 講堂1
		所属部署において役割モデルとなり感染管理活動を実践・推進できる。	レベルⅢ	①感染対策についてスタッフに指導できる。 ②感染予防の観点から所属部署における課題について考えることができる。 ③当院における感染管理体制を理解し、ICNとの協働について考える。	①講義 ②講義 ③ICN研修	柴谷・小井感染管理認定 CN 中央検査室技師長	ラダーⅢ以上	9月30日 10月6日 ICN研修:10月8日、15日、22日のいずれか	17:30～19:00 9:30～16:00 13:00～15:30 講堂1
	スキンケアコース	褥瘡予防ケア・治療の基礎知識・技術を習得する。	レベルⅡ	①皮膚の観察、褥瘡予防のためのリスクアセスメントについて理解できる。 ②褥瘡予防・治療のために必要なケアの根拠を理解できる。	①講義 ②講義・演習	清水皮膚排泄ケアCN	ラダーⅡ以上	6月30日 7月1日	9:00～16:00 17:30～19:00 講堂1
		褥瘡リスクの高い患者の全体像をとらえたケアを実践し、スタッフの指導が行える。	レベルⅢ	①褥瘡リスクの高い患者の全体像を把握し、状況に応じた個別的なケアを考えることができる。 ②褥瘡予防治療の看護について、他者に教育的・指導的に関われる。	①講義 ②グループワーク ③WOC研修	清水皮膚排泄ケアCN	ラダーⅢ以上	9月29日 10月7日、11月18日、12月2日のうちいずれか1日	9:00～16:00 14:30～16:30 講堂1

※任意

2019年度 看護部教育計画

2019年4月11日

実践力	研修名	目的	目標	方法	講師	対象者	開講日	時間	場所
	重症集中ケアコース	呼吸・循環機能に障害のある患者の看護を展開するための知識と技術を習得する。	①呼吸器系のフィジカルアセスメントができる。 ②酸素療法について理解できる。 ③人工呼吸器について基本的な知識を習得することができる。 ④人工呼吸器装着中の患者の看護についての知識を習得できる。 ⑤循環器のフィジカルアセスメントができる。 ⑥ショックの病態生理について理解することができる。	①講義 ②ICU研修	中村集中ケアCN	ラダーⅢ以上	①11月9日 ②11月19日、20日	9:00～16:00 9:30～12:30	①会議室2 ②ICU内
	がん看護コース	がん看護に関する専門知識を学び理解することができる。	レベルⅡ ①がん看護を実践する上で必要な専門的知識を得ることができる。 ②がん患者の包括的アセスメントの方法を理解できる。	検討中	検討中	ラダーⅡ以上	7月20日	9:00～17:00	会議室5
		診断・治療期～終末期までのがん患者を包括的に把握し、状況を判断したうえで適した看護実践を行うことができる。	レベルⅢ ①がん患者・家族が抱える複雑な問題やニーズを明らかにする。 ②がん患者・家族が抱える複雑な問題やニーズに対して個別的な介入方法を導き出して実践できる。 ③当院におけるがん診療の提供体制・多職種との協働について理解し、実践することができる。	検討中	検討中	ラダーⅢ以上	9月28日 10月19日	9:00～17:00 9:00～17:00	講堂1
	摂食・嚥下障害看護コース	嚥下障害の障害時期に応じた看護が実践できる。嚥下障害の障害時期に応じた看護の知識・ケア方法を学び理解することができる。	レベルⅡ ①嚥下評価方法について理解できる。 ②嚥下障害時期に応じた訓練の選択方法を理解できる。 ③誤嚥性肺炎予防のリスクを考え、予防について理解できる。	①講義 ②演習	田野岡脳卒中リハビリテーション看護CN 言語聴覚士	ラダーⅡ以上	6月22日	9:30～16:00	講堂1
		摂食・嚥下障害の全体像を捉え、ケアの実施、スタッフの指導が行える。摂食嚥下障害患者の全体像を捉え、必要なケアの選択、実施ができる。	レベルⅢ ①摂食嚥下障害患者を取り巻く背景(身体的・社会的)について理解できる。 ②摂食嚥下障害患者の全体像を把握し、アセスメントの視点が理解できる。 ③嚥下障害に合わせたケアの選択が理解でき、実践できる。 ④摂食嚥下障害患者の全体像を把握し、アセスメントの視点が理解できる。	①講義 ②演習 ③検査見学	田野岡脳卒中リハビリテーション看護CN 耳鼻科医師 言語聴覚士 管理栄養士	ラダーⅢ以上	7月21日 7月22日	9:30～15:00 10:00～15:00	会議室5
その他	講演会	社会の変化を取り入れた新たな幅広い知識を習得する	今年度の看護部の方針	講演	看護部長	看護職員	5月日程調整中		
	看護必要度研修	重症度、医療・看護必要度評価に必要な知識・技術を習得する。	1. 重症度、医療・看護必要度の適切な評価ができる。 2. 重症度、医療・看護必要度を適切に評価できる看護師を育成する。 3. 重症度、医療・看護必要度に関する院内体制の調整を行う。	①講義 ②テスト	記録委員 看護部	看護職員	①9月4日②5日③9日④12日⑤13日	①②③⑤17:30～18:45 ④12:00～13:15	①③④⑤ 講堂1 ②視聴覚室



## 2019年度 看護部教育計画

2019年4月11日

実践力	研修名	目的	目標	方法	講師	対象者	開講日	時間	場所	
看護補助者研修	補助者研修	医療チームの一員としての役割を自覚し、看護補助者としての能力を高める。	概論・接遇	①医療制度の概要と病院の機能・組織がわかる。 ②医療チーム・看護チームの一員として看護補助者業務が理解できる。 ③看護補助者業務を遂行するための基礎的な知識・技術が理解できる。 ④患者・家族に対しておよび職員同士接遇を学ぶ。	講義	喜多副看護部長	看護補助者 ※全員参加	6月5日・11日	15:00～16:00	講堂1
			感染Part1 感染Part2	⑤病院で働くことによる感染の危険性(患者に感染させる可能性・感染を受ける可能性)について、正しい知識を身につけ行動できる。	講義	小井感染管理CN	看護補助者 ※全員参加	Part1 7月8・11日 Part2 10月10・16日	15:00～16:00	講堂1
			安全	⑥看護補助者業務の役割を通して安全に留意した援助の重要性が理解できる。	講義 グループワーク	倉智専任RM	看護補助者 ※全員参加	9月6日・10日	15:00～16:00	講堂1
			移乗・移送 補助	⑦車椅子の移送方法と留意点を学ぶ。 ⑧ベッド、ストレッチャーの移乗の補助方法を学ぶ。	演習	業務委員	看護補助者 ※研修未受講者or受講経験が少ない者 ※師長選出者	11月12日・21日	15:00～16:00	講堂1
			認知症	⑨認知症患者の対応方法を知る。	講義・演習	伊坪老人看護CNS	看護補助者 ※研修未受講者or受講経験が少ない者 ※師長選出者	12月12日・17日	15:00～16:00	講堂1